

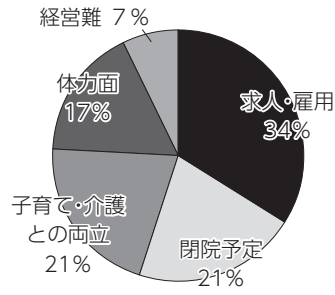


女性歯科医師アンケート報告

「仕事面で悩みや負担がある」半数

女性歯科医師の会は4月、女性会員対象に働き方の実態や協会への意見・要望を聞くアンケートを実施した。のべ56人(開業医44人・勤務医12人)から回答があり、回収率は12%であった。要旨を2回に分けて報告する。

「仕事面で悩みや負担がある」



①開業医 回答者の年齢は50代が47%と半数近くを占め、60〜70代が35%、30〜40代が15%であった。医療形態は診療所がほとんどを占め、その他、施設併設が1件あった。「これまでに一定期間休職した経験」については、56%が「ある」と答へ、理由は「出産・育児」が45%と最も多かった。「休職に係わって苦労した点」について聞く「患者対応」や「金銭的不安、社会からの孤立」が54%、「曜日・日時などが合わない」が45%となり、いずれも環境的な要因が占めている。「講習会での保育利用(子がいた場合)」については、13%が「利用したい」と答へ、一定の希望する声認められた。

については、52%が「ある」と答へ、求人や雇用に関するものが34%、閉院予定21%、子育てや介護との両立21%、体力面17%と続いた。また、昨今の物価上昇やデジタル化のコストによる経営不安の声も1件あった。協会主催の講習会の利用を聞くと、「あまり利用しない」「全く利用しない」が50%と半数を占めた。理由は「時間がとれない」が54%、「曜日・日時などが合わない」が45%となり、いずれも環境的な要因が占めている。「講習会での保育利用(子がいた場合)」については、13%が「利用したい」と答へ、一定の希望する声認められた。

談話室 だんわ室

思いは一つ 戦争やめて

江原 豊(おおさか医科・歯科九条の会世話人)



連休前半の4月29日、九条の会兵庫県医師の会が企画したロシア領事館前での抗議行動に参加した。ロシア政府に対し、核兵器による威嚇を止め、戦することを求めた。大阪のロシア領事館は、豊中市内にある。周辺は住宅地であり大きな音を出しての抗議はできないが、プラカードなどでアピールした。地球上で唯一英知と理想を有する人類がなぜ愚行を繰り返すのか。なぜ戦争による決着を求めるのか。戦争に勝者などいない。戦争する者はみな敗者だ。互いが手を取り合い大切に思えた時こそ真の勝利ではないのか。最大の人権侵害をいつまで続けるのか。とにかくやめて!この声よ、世界に届けと思いを込めて空に叫ぶ。ひとつが世界を変える力になると信じて。

大阪日本民藝館

民藝運動の西の拠点

私は、大学受験の際、建築学部や意匠工芸学部を考えていたが、結局歯学部に着いた。ものづくりという点においては歯科医師も悪くないなと思いついて。世の中に溢れている工業デザインや作品をみてみると、プロのレベルの高さを痛感し、隙のないデザインが魅力で、可愛らしい作品と作者の100歳という年齢のギャップがまた面白い。生誕100年 柚木沙弥

関西ウォッチング

の暖かさや温もりのある造形に価値を見出す事とされている。今回訪れた大阪日本民藝館は、千里万博公園の文化ゾーンの中に位置しており、日本庭園、国立民族学博物館に隣接して。1970年の大阪万博において「暮らしの美」をテーマに、江戸期の古民藝、当時の産地の手仕事、個人作家の新作が展示されたパビリオンが元になっている。万博終了後、財団法人大阪日本民藝館が設立され、柳宗悦が提唱した民藝運動の西の拠点、大阪日本民藝館として1972年に開館した。陶磁器、染織品、木漆工品、編組品など、国内外から作品を収集し、展示公開してきている。現在2023年春季特別展として「絞り染めの世界」(安藤宏子のまなざし)を開催中だ。(新聞部・永田篤)

協会行事案内

お申し込みは右のQRコードから協会行事予定の「お申込み」へ



6月度生涯研修 「根管治療で失敗する本当の理由―失敗・反省してこそ根管治療―」
明日からすぐに活かせる「医療接遇セミナー」
新人スタッフ総合講座
【会員限定】施設基準研修会
「歯初診の施設基準に係る研修会」
無料相談
法律 6月5日(月) 14時〜16時
雇用 6月15日(木) 14時〜16時
税務 6月21日(水) 14時〜17時
※会場は保険医会館。1週間前までに要申し込み